

2017年度 白梅学園大学子ども学部 授業アンケート結果

2018.3 FD委員会

授業アンケートにご協力頂き、ありがとうございます。授業アンケートは、学生のみなさんが授業についてどのように受け止めているのかを担当教員に伝え、授業内容をより良いものにしていくことを目的としています。回答いただいた内容は、科目ごとに担当教員に結果を伝えていますが、全体の傾向について概要を報告します。

前期は延べ人数約 4870 名、後期は延べ人数約 2580 名からの回答がありました。

回答は5件法で、「そう思う」5点「ややそう思う」4点「どちらともいえない」3点「ややそう思わない」2点「そう思わない」1点として、平均値を算出しました。

① あなたは授業内容を理解することができましたか。			⑥ 教員の授業の進め方は内容の理解に対する配慮がされていましたか。		
	平均値	度数		平均値	度数
前期	4.10	4870	前期	4.08	4869
後期	4.04	2584	後期	4.06	2586
② あなたは準備を整えて授業に臨みましたか。			⑦ 教員の出す課題や問題提起等はこの授業への関心を高めましたか。		
	平均値	度数		平均値	度数
前期	4.10	4873	前期	4.11	4872
後期	4.01	2586	後期	4.09	2581
③ この授業で、新たな知識や技能等を学ぶことができましたか。			⑧ この授業の到達点・目標は明確でしたか。		
	平均値	度数		平均値	度数
前期	4.30	4865	前期	4.11	4880
後期	4.24	2587	後期	4.07	2588
④ この授業で、新たな問題意識を深めることができましたか。			⑨ この授業の成績評価の方法と基準は明確でしたか。		
	平均値	度数		平均値	度数
前期	4.10	4864	前期	4.04	4870
後期	4.11	2584	後期	4.04	2585
⑤ この授業で、新たな学習目標を持つことができましたか。			⑩ あなたを含めた教室の学生たちの授業態度は適正でしたか。		
	平均値	度数		平均値	度数
前期	4.05	4871	前期	4.06	4878
後期	4.03	2590	後期	4.03	2587

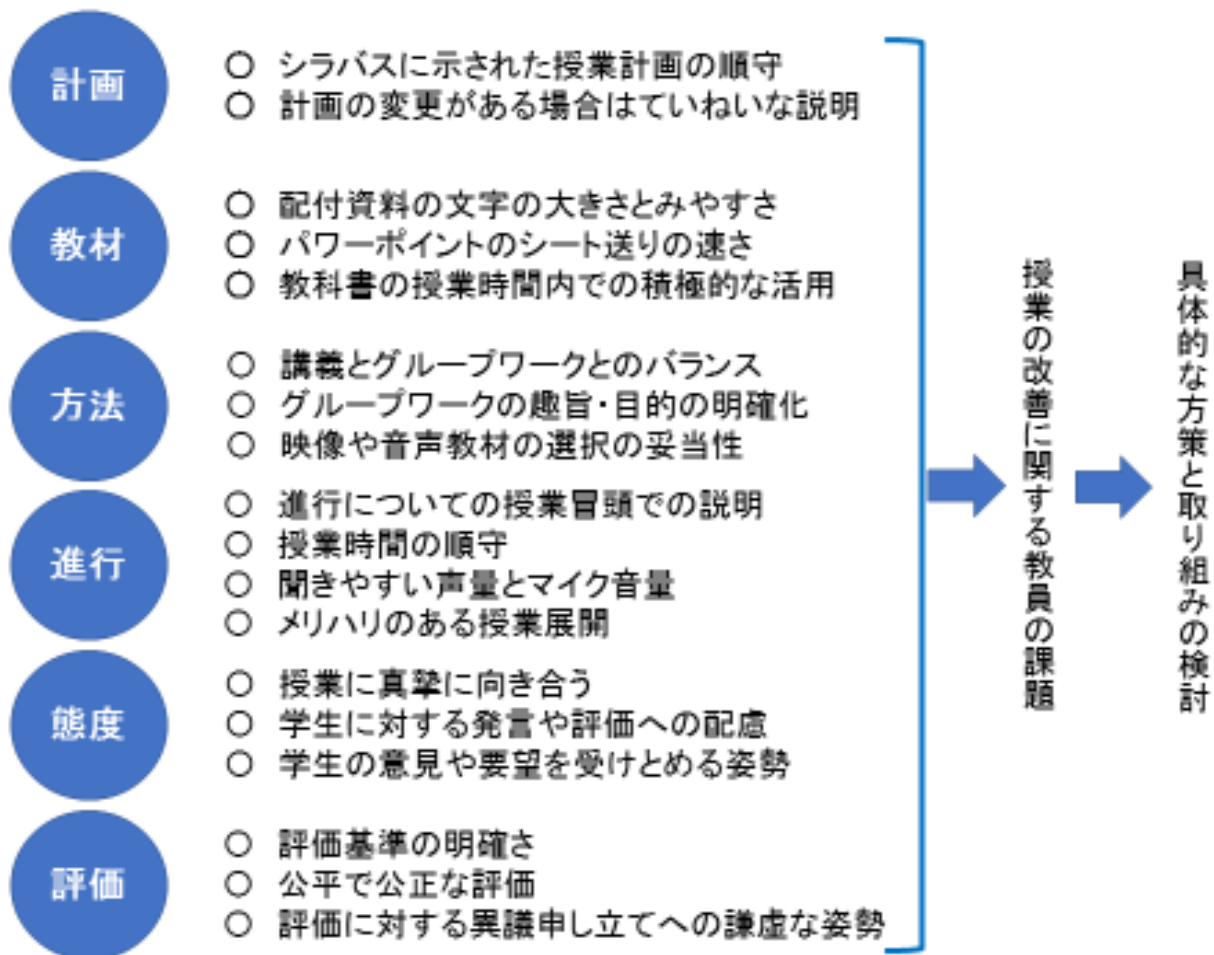
前後期において全ての項目で、4点を上回っており肯定的な回答が多くみられました。

特に、学生自身の学びに関わる「③授業で新たな知識や技能を学ぶことができた」については、平均値が前後期ともに高く、肯定的な評価をしている学生が多い結果となりました。

後期は回答者の数が、前期の半分ほどでした。回答者の割合が異なるため、前後期の比較は慎重に行う必要がありますが、学習への準備状況「②あなたは準備を整えて授業に臨みましたか」が、特に後期で平均値が下がる傾向がみられました。

教員の授業の進め方等についても概ね肯定的な評価でしたが、授業アンケートから得られた教員が配慮・工夫・改善すべき課題は、大きく分けると「計画」「教材」「方法」「進行」「態度」「評価」になります。

以下に、具体的な課題と今後の対処を示しました。



本授業アンケートの結果を教室環境の改善も含め、よりよい授業につながるよう、活かして行きたいと考えています。

授業アンケートにご協力頂き、ありがとうございました。授業アンケートは、学生のみなさんが授業についてどのように受け止めているのかを担当教員に伝え、授業内容をより良いものにしていくことを目的としています。回答いただいた内容は、科目ごとに担当教員に結果を伝えていますが、全体の傾向について概要を報告します。

前期は延べ人数約 1620 名、後期は延べ人数約 760 名からの回答がありました。

回答は5件法で、「そう思う」5点「ややそう思う」4点「どちらともいえない」3点「ややそう思わない」2点「そう思わない」1点として、平均値を算出しました。

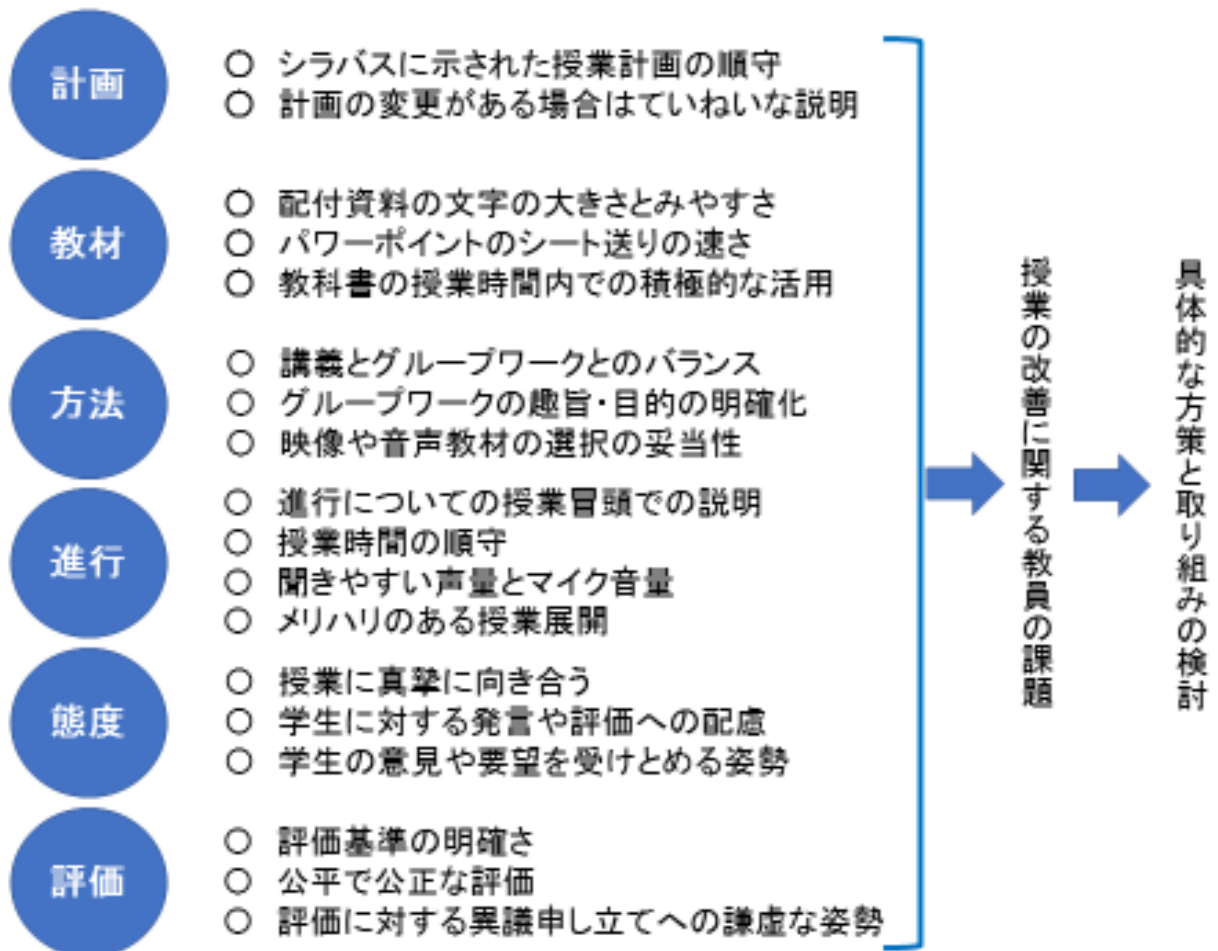
① あなたは授業内容を理解することができましたか。			⑥ 教員の授業の進め方は内容の理解に対する配慮がされていなかったか。		
	平均値	度数		平均値	度数
前期	4.14	1619	前期	4.16	1615
後期	4.03	762	後期	3.98	763
② あなたは準備を整えて授業に臨みましたか。			⑦ 教員の出す課題や問題提起等はこの授業への関心を高めましたか。		
	平均値	度数		平均値	度数
前期	4.19	1620	前期	4.11	1619
後期	4.07	766	後期	3.93	762
③ この授業で、新たな知識や技能等を学ぶことができましたか。			⑧ この授業の到達点・目標は明確でしたか。		
	平均値	度数		平均値	度数
前期	4.29	1616	前期	4.2	1619
後期	4.11	763	後期	3.98	765
④ この授業で、新たな問題意識を深めることができましたか。			⑨ この授業の成績評価の方法と基準は明確でしたか。		
	平均値	度数		平均値	度数
前期	4.14	1615	前期	4.15	1613
後期	3.97	761	後期	3.95	760
⑤ この授業で、新たな学習目標を持つことができましたか。			⑩ あなたを含めた教室の学生たちの授業態度は適正でしたか。		
	平均値	度数		平均値	度数
前期	4.11	1620	前期	4.04	1620
後期	3.97	764	後期	4.01	765

前期は、全ての項目で平均値が4点を上回っており、全体的に肯定的な回答が多くみられました。

後期は回答者の数が、前期の半分ほどでした。回答者の割合が異なるため、前後期の比較は慎重に行う必要がありますが、全ての項目で後期の方が点数が下がる傾向が読み取れます。

学生自身の学びに関わる場所では、「③授業で新たな知識や技能を学ぶことができましたか」では、前後期ともに、肯定的な評価が得られています。一方で「④この授業で、新たな問題意識を深めることができましたか」「この授業で、新たな学習目標を持つことができましたか」は、平均値が後期で4点を下回っています。また、学生自身の授業への準備(②)、教員の授業の進め方等(⑥、⑦)、到達目標や評価方法明確さ(⑧、⑨)に関しても、後期で4点を下回っています。これらの要因が関連しあい、学生の学びに影響している可能性もあることから、今後に向けて改善が必要と考えられます。

授業アンケートから得られた教員が配慮・工夫・改善すべき課題は、大きく分けると「計画」「教材」「方法」「進行」「態度」「評価」になります。以下に、具体的な課題と今後の対処を示しました。



本授業アンケートの結果を教室環境の改善も含め、よりよい授業につながるよう、活かして行きたいと考えています。